

## ディスコグラフィー掲載

### ディスコグラフィー【2016No.47】(HP 掲載)

分類：CD

作曲家：J.S.バッハ

曲名：無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ第1番、パルティータ第2番、第3番

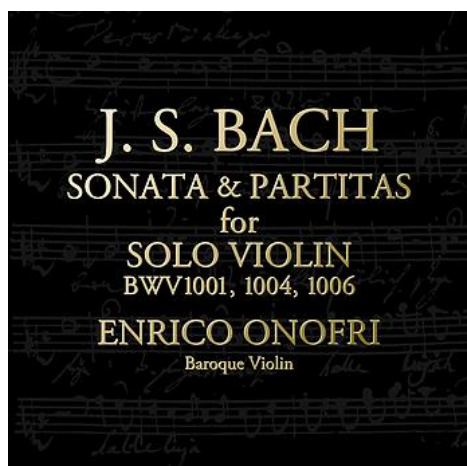
演奏：エンリコ・オノフリ

発売：Anchor Records

No.：UZCL-1030

概要：

オノフリの演奏会に行き買い求めてきたものです。パルティータ第2番の Ciaccona はアンコールでも演奏されました。



収録曲は次のとおりです。

- 01.ソナタ第1番 ト短調 Adagio
- 02.ソナタ第1番 ト短調 Fuga, Allegro
- 03.ソナタ第1番 ト短調 Siciliana
- 04.ソナタ第1番 ト短調 Prest
- 05.パルティータ第2番 ニ短調 Allmanda
- 06.パルティータ第2番 ニ短調 Corrente
- 07.パルティータ第2番 ニ短調 Saraband
- 08.パルティータ第2番 ニ短調 Giga
- 09.パルティータ第2番 ニ短調 Choral
- 10.パルティータ第2番 ニ短調 Ciaccona
- 11.パルティータ第3番 ホ長調 Preludio
- 12.パルティータ第3番 ホ長調 Loure

- 13.パルティータ第3番 ホ長調 Gavotte en Rondeau
- 14.パルティータ第3番 ホ長調 Menuet I – V Menuet II
- 15.パルティータ第3番 ホ長調 Bouree
- 16.パルティータ第3番 ホ長調 Gigue

この CD には下記のような解説があります。

「ヨハン・セバスティアン・バッハ最高の名曲のひとつ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタとパルティータ」。「シャコンヌ」を中心とした、このクラシック音楽、そしてヴァイオリン音楽の金字塔を、モダン、バロックを問わず、今までにない斬新な解釈と卓越した技巧で聴衆を熱狂の渦に巻き込んで来たエンリコ・オノフリが、今日までの19世紀的な演奏を“まっさら”にして、新たな知識と、新たな視点での「新しい無伴奏」をバロック・ヴァイオリンで演奏する！録音エンジニアは現在ヨーロッパでも引っ張りだこの名エンジニア、ジャン・ダニエル・ノワール。」

オノフリの HP もあり、演奏の様子動画もあります。

<http://enrico-onofri.music.coocan.jp/>

手元にあった次のような CD とも聴き比べてみました。また、シャコンヌは、堀米ゆず子、レイ・チェン、ギル・シャムなどの BS 放送の録画もありますので、それらとも聴き比べてみましたが、ともかく飛びぬけて従来の演奏スタイルとは違うものです。



演奏会のシャコンヌでも度肝を抜かれましたが、自由奔放で全曲を通じて、まるでカデ

ンツアか即興演奏を聴いているようで、典型的なバッハの演奏の沈思黙考的、哲学的な演奏とは大違いの、まるでカンツォーネのようなバッハです。

なお、録音は非常によく、華麗なボウイングが手に取るように分かります。